

毎月5日は「少年の日」



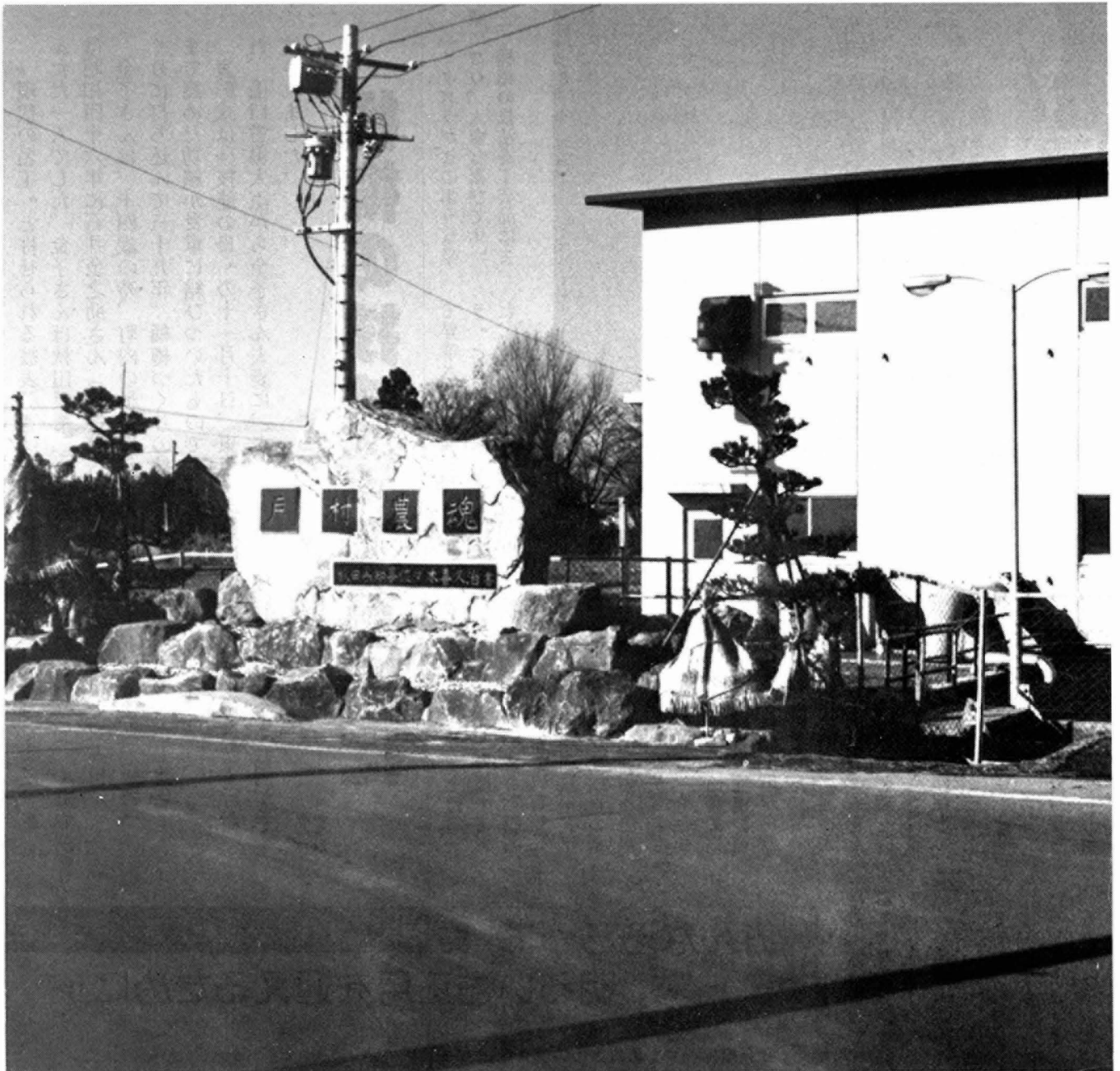
語り合う

ことばと愛で
明るい家庭

広報 ごじょうめ

発行／五城目町役場
編集／文書広報課 ☎ 0188 (52) 2100 (代) 印刷／五城目印刷

野田町内の揚水機場敷地に工事の完成を記念して「戸村農魂」と刻まれた石碑が建てられました



(広報紙中にある「真」を欲しい方には
おあげします)

昭和59年

12月1日

(毎月1日・15日発行)

No. 505

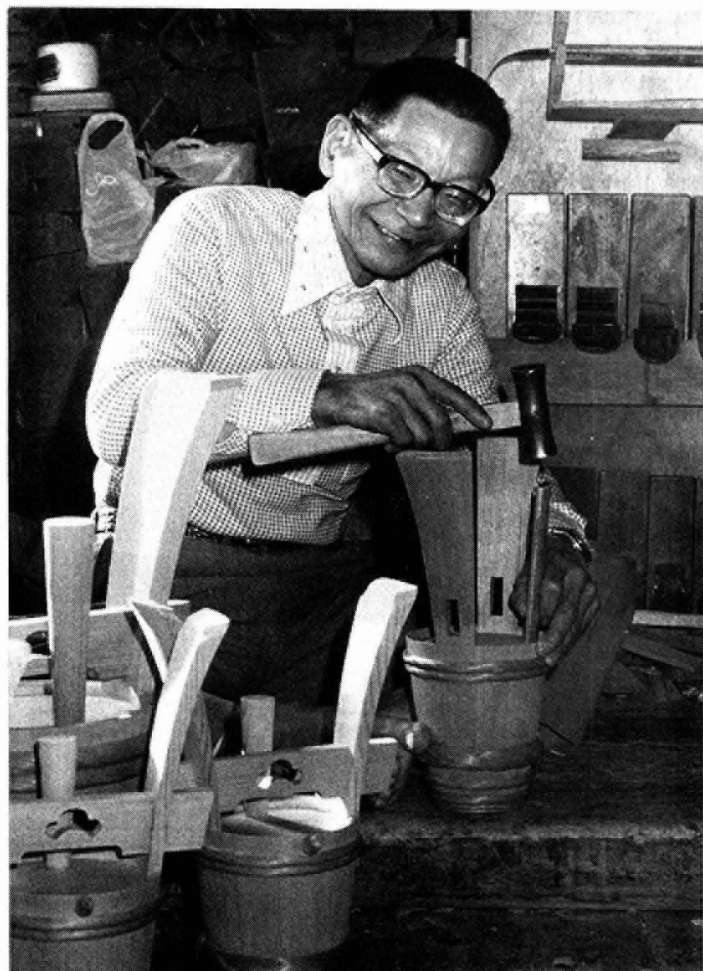
ふるさと散歩

戸村堰

町内には「真崎堰」と並び称される「戸村堰」があります。戸村堰の水路開きく工事は、一六〇〇年に佐竹藩家老中川宮内が着手し、一六四八年に戸村十太夫によって完成されました。戸村堰の名は、十太夫の名字からきています。

五城目第一中学校下の馬場目川から取り入れられた水は、直径八〇センチ、長さ一三四メートルの逆サイホンで富津内川の下を通り抜け、畑町内で大由沢水路と合流します。

この二つの用水路は、昭和四十八年から全面改修工事が行われ、十二年の歳月をかけてこのほど完成しました。用水路の延長は九キロを超え、山内地区など上流部は水路で、岡本地区など下流部はパイプラインでかんがいするというもの。その範囲は八郎潟町まで及んでおり、四〇〇ヘクタールの水田を潤します。



現代の名工に選ばれた金子喜三郎さん

金子さん 現代の名工に 本町では二人目

「イタズラがこのような受章になり、大変な喜びです」と、桶樽の技法を工芸品にま

で昇華させたことを「イタズラ」と言いきる金子さん。また、「自分の好きなことが、自

桶樽の技法を工芸品に

わが国の最高水準の技術をもった人に贈られる「卓越した技能者」の労働大臣表彰に、本町の金子喜三郎さん（五三歳・樋口）が選ばれました。

「現代の名工」と称せられる被表彰者は、今年度全国で百人、県内では金子さんただ一人でした。金子さんは秋田県で三十四人目の「現代の名工」で、本町では昭和四十六年に石井金之助さん（一番町）が表彰されたのに次いで二人目。

金子さんは、十四歳の時、町内の桶屋に弟子入りし、二十五歳で独立、桶樽づくりに打ち込んで三十九年。桶樽づくりの技法を花器や皿などに導入、工芸品にまで高めた功績が受章に結びついたものです。

表彰式は「技能の日」の十一月十日、東京・中野の全国勤労青少年会館で行われ、山口労働大臣から金子さん夫妻に、表彰状と卓越技能章、褒賞金十万円が手渡されました。

分の仕事となったことは幸せなことです」と、今度の表彰で、より工芸品づくりに打ち込めることを喜んでいました。

金子さんは、昭和三十五年の桶樽品評会に、秋田杉の木目が美しい菱型の花器を出品し、一躍、業界の脚光を浴びました。この作品は、それまでの「容れ物」という桶の既成概念を打ち破り、桶樽製造技法の特長と杉の木目が巧みに活かされていました。

五十一年には県美術館に入选、五十三年に県立美術館と東京・銀座の松屋で個展を開き、好評を博しました。「銀座の松屋で個展を開けたということは、私の作品がそれだけ高く評価されたからだと思います」

「作品のアイデアは「ひらめき」と言う金子さんの作品は、天性の器用さ、研究心、

努力とあいまって、桶樽の延長とは考えられないほど多彩で、「きゅうす」や直径一センチのミニ樽も作り上げました。

その中でも金子さんの自慢作は「ひょうたん」型の瓶。竹のタガをひょうたんのふくらんだ所を通して、細くくびれた部分で締める、この技術

は金子さんだけにしかできないと言われている。

「どんなに高い値段をつけられても、手放したくないものも数点あります。売ろうとか、見てもらおうとかで作ったわけではないから」という言葉からも、好きで入った道ということがうかがえます。

みんなそろって

歳末たすけあい運動12月1日～31日

明るいお正月を迎えるために

【社会福祉をすすめるための資金は国がまかなうべき。なぜ募金運動が必要なのか】

わが国の社会福祉は次の2つを柱にすすめています。

- ①公的施策……生活保護制度、老人ホームや保育所の設置・運営など
- ②民間社会福祉活動……共同募金運動、民生委員活動など

特に②の民間社会福祉活動は、①の公的施策では対応できない面を受け持っており、例えば、近所同士の助け合い、ボランティア活動、共同募金などを通じて、キメ細かな対応をすることが特長です。そしてこれは、「自分たちの福祉は自分たちの手で」という「たすけあいの心」

にもとづいています。

【寄付されたお金はどのくらい集められ、どんなふうに使われるのだろうか。】

58年の「歳末たすけあい」では、約73億円のお金が、次のような方々に配分されました。

- ▶精神薄弱児(者)、肢体不自由児(者)に
- ▶恵まれない子供たちに(養護施設など)
- ▶成人施設入所者に
- ▶老人施設入所者、在宅寝たきり老人などに
- ▶長期療養患者に
- ▶生活困難世帯に
- ▶災害地、辺地などの方に

「みんなそろって明るいお正月」を迎えるため、多くの方のご協力をお願いします。

の勲 町内から二人が受章 秋叙 教育と消防功勞で

昭和五十九年秋の叙勲で、本町からは米田健一さん（七十二歳・上樋口）と、大石喜代松さん（六十二歳・下山内）の二人が受章の榮譽に輝きました。

米田さんは、西仙北高校や沼館高校、由利高校の校長を歴任されるなど、長年にわたって教育に貢献されたことが認められ、勲四等瑞宝章を受章されました。

また、大石さんは、長年にわたって本町の消防団員として活躍され、この間、第八分団長を務められるなど、消防功勞により勲六等瑞宝章を受けられました。

19年間、五高で教べんとる

勲四等瑞宝章 米田 健一



「伝達式の後、皇居で天皇陛下に拝謁してきました」と、受章の感想は控えめでしたが、その時の陛下のお言葉をそらんじており、受章を心から喜んでいました。

師を務め、昭和十八年に本県の大館桂高校に赴任して来ました。そして、二十一年に五城目高校の前身である五城目高等女学校に転任。以来十九年間、本町で教べんとられた米田さんは転任当時の校舎、矢場崎への校舎の移転など、思い出は尽きないようでした。

四十年に初代西仙北高校長就任。その後、沼館（現雄物川）と由利高校長を歴任。学校長時代は、子供の学校の関係で、家族を本町に残しての単身赴任だったそうです。

米田さんが語る思い出には、教え子や交友を深めた人たちの名前が次々に登場し、三十八年間の教師活動の足跡がしのばれました。

四十七年に退職され、現在は上樋口の自宅で奥さんとの二人暮らし。「本を読むことが日課となりました」と笑っていました。

消防団活動ひとすじ36年

勲六等瑞宝章 大石 喜代松



「私のようなものが、叙勲の榮譽に浴することができ、胸がいっぱいでした」と、受章の感激を語る大石さんは、三十六年間にわたる消防団での活動が報われたことを率直に喜んでいました。

大石さんは、昭和二十一年に富津内村消防団に入団、二十三年には富津内村消防団員となり、五十七年に消防団第八分団長を最後に消防団の任務を勇退しました。この間、

第七回文化経済懇話会

12月6日、役場正庁で

第七回文化経済懇話会が十二月六日（木）午後二時半から四時半まで役場正庁で開かれます。

今回は、大館市出身の小野三嗣氏が「あすの健康をひらくー生活と健康」と題して講演を行います。受講料は無料、どなたでも聴講できます。

小野氏は、東京慈恵会医科大学を卒業後、横浜国立大学教授、東京慈恵会医大を務められ、現在、東京学芸大学で教授として大学院運動学第一講座を担当されています。大正四年生まれ、六十九歳。

“あすの健康をひらく”
東京学芸大学教授が講演



献血ありがとう
「ぐじょうめ」

十一月十三日、五城目高等学校前と役場前で行われた献血に協力してくださいました方たちのお名前は次のとおりです。

（敬称略、数字は献血回数）

菅村芳夫	16	伊藤 清	16
菅原由美子	3	阿部 浩	2
伊藤 勉	2	児玉英一	16
伊藤忠志	3	小玉真紀子	2
佐藤晃子	2	伊藤友子	2
伊藤由里香	2	千田弘美	2
大石和浩	1	越後 淳	1
渡辺俊之	2	小林正広	2
伊藤幸樹	1	田中幸造	2
越高エリ子	2	菅生唱子	1
柴田 学	2	佐々木博文	1
小松成幸	2	伊藤 司	2
畠山里美	2	安田玲子	2
小玉幸子	2	伊藤優美子	1
鷲谷美代子	2	石川比奈子	1
金野勝子	2	加賀谷智子	2
小野 誠	2	佐藤栄久子	2
大友幸恵	1	伊藤 匡	2
小野栄悦	1	齊藤 薫	2
小玉博樹	2	伊藤美和子	1
小林悦子	2	加藤容子	2
御所野光子	1	原田 司	1
沢畑 守	1	佐藤和久	1
牧野孝也	1	猿田 誠	4
加藤千穂子	1	伊藤貞子	1
勝又孝幸	1	米沢幸治	1
佐藤菜穂子	3	齊藤涼子	1
半田尚美	2	小林あけみ	1
伊藤優子	1	角間崎栄樹	11
羽沢齊志	2	北嶋美保子	15
朝野暢稔	12	石川睦子	2
武石 正	18	勝田重信	45
佐藤貴子	9	中泉甚一	14
猿田 仁	8	石井政則	18
八柳 博	16	伊藤典明	6
奈良登志子	8	茂木二三男	10
宮腰俊一	39	浅野ヒデ	2
金沢弘幸	8	小野 勉	7

富津内稜線林道が完成

高野から尾根伝いに小川口へ

富津内高野地内、国道285号線を起点とし、内川小川口地内を結ぶ全長六・五二六キロメートルの「富津内稜線林道」が完成、十一月二十六日、現地で開通式が行われた。

林道の沿線には、秋田杉を中心に町有、民有林が広がっていますが、道路が未整備でトラックなど機械力を導入することができず、切り倒した木材の搬出が困難でした。このため町では、国や県から補助していただき、経済効率の良い林業経営と植樹の推進をねらいに、総事業費三億九千七百万円をかけ、五十一年から林道の建設を進めてきました。

林道の沿線には、秋田杉を中心に町有、民有林が広がっていますが、道路が未整備でトラックなど機械力を導入することができず、切り倒した木材の搬出が困難でした。このため町では、国や県から補助していただき、経済効率の良い林業経営と植樹の推進をねらいに、総事業費三億九千七百万円をかけ、五十一年から林道の建設を進めてきました。

また、午後から会場を町民センターに移して竣工式が行われ、助役の工事経過報告、町長の式辞のあと、工事関係者などに感謝状が贈られました。



テープカットを行い完成を祝う

五城目、大川、内川の各保育園では、昭和六十年度の保育園児を募集します。

特に五城目保育園では、来年度から二歳児の保育を始めることになり、二歳児に限り全町から園児を募集します。三歳児と四歳児は、今までどおり五城目、馬川、森山、上山内、下山内、富田、小倉地区が募集地域となっています。また、内川、大川保育園は三歳、四歳、五歳児が対象になっており、募集地域も指定

保育園児を募集 五城目保育園は二歳児も

間は十二月十日から十五日までです。

保育園は、家庭の状況などによって、児童の保育が困難と認められる場合に、保護者

にかわって保育する児童福祉施設です。

▽五城目保育園

・募集定員：百五十人

・対象者：昭和五十五年四月

み全町を対象とします）

▽大川保育園

・募集定員：九十人

・対象者：昭和五十四年四月

二日～五十七年四月一日生

・対象地域：大川全地区

▽内川保育園

・募集定員：四十五人

・対象者：昭和五十四年四月

二日～五十七年四月一日生

・対象地域：内川全地区

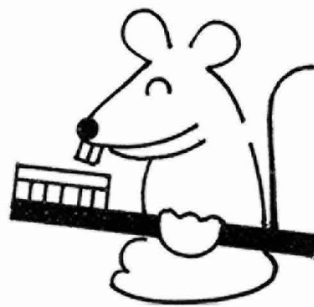
（小倉は除く）

・対象地域：五城目、馬川、森山、富田、上山内、下山内、小倉地区。（二歳児の

歯の健康シリーズ

No.17

口は部屋



（シンボルマーク
応募作品から）
馬場目小三年
佐藤千鶴

清潔な状態を保つコツとしては、一般的な掃除の場合でも汚れをためないで、マメに掃除をすることであるとされています。

このような点からも汚れになる前の掃除、つまり食べたらみがくことを心掛けましょう。

鏡を見ながら

部屋の中は目で見ながら掃除することができず、口の中は直接見ながらみがくことはできません。みがける「みがき方をしているつもりでも、いつの間にかやらいのクセがでて、みがけない」「みがき方になってしまいかもしれません。

時々鏡を見ながら歯ブラシのあて方が歯列に合っているか、動かす方向が歯面に沿っているか、みがき

残しなどを直接目で確かめてみましょう。

みがき残しの歯垢は、染色剤で染めてみれば、簡単に分かります。染色された歯垢は歯ブラシでするとすぐとれと共、正しい歯みがきのしかたに改善することもできます。

自己点検は、自分の部屋と同じ考えで、自分の口が清潔に掃除されているかを見るものです。自分の部屋の掃除が終わったら、子供の部屋、そして、できたら毎月一回くらいは家族全員で部屋の掃除の具合を確かめ合い、家族全員が「みがける」「みがき方を身につけるようになりたいものです。

五城目町親と子の健康な歯づくり運動推進委員会
養護部会

12月は飲酒運転追放強調月間

飲酒運転はモラルの問題

十二月は「飲酒運転追放強調月間」です。また、十二月一日から十日までは「年末の交通安全運動旬間」で、次の四点を重点事項として運動が展開されます。

- ① 子供と高齢者の交通事故防止
- ② 飲酒運転の徹底追放
- ③ 安全運転の励行
- ④ シートベルト着用の推進

ドライバーのみなさんは、「まあ、堅いこと言わないで、ビール一杯ぐらい」などと勧められて、つい飲んでしまったことはありませんか。「少



しの酒なら、かえって運転の腕がさえてくる」などと本気で思っている方はいませんか。とんでもない思い違いです。常に、心身ともに万全の状態

でハンドルを握る——ドライバーである以上、必ず守らなければならぬ基本的なモラルの一つです。

道路交通法は「何人も酒気を帯びて車両等（自動車、原動機付自転車など）を運転し

てはならない」と定めています。そうと知りながら、酒を飲んで車を運転することは、最も恥ずべき行動と言えます。

飲酒運転は、ほかの犯罪に比べて執行猶予が少なく、実刑、厳罰主義がとられていますが、飲酒運転で罰せられるのはドライバーだけではありません。目上の人などが、酒を飲んでいる人に車の運転を強要すると処罰されます。また、ドライバーに酒を勧めることも禁止されています。

飲酒運転をなくすためには、家庭や職場、地域社会などで、「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない、飲ませない」という鉄則を確立することです。もちろん、それらにも増して大切なのは「私は絶対に飲酒運転はしない」というドライバーの自覚であることは、言うまでもありません。

ドライバーのみなさん 雪道は十分注意して

これからは、道路が凍ったり、雪が積ったりして、スリップしやすくなります。冬の道は、より慎重な運転が要求されます。

▼チェーンの携行を

忘れずに

平地では雪がなくても、山間部や峠では雪が降って

いたり、道路が凍結していたりすることがあります。早目に冬道用タイヤに取り換えるとともに、遠出をするときはチェーンを忘れずに持ちましょう。

▼ブレーキは早目に

冬道は制動距離が長くなります。ゆとりをもって早

目にブレーキをかけましょう。

▼アクセルの踏み込み過ぎに注意

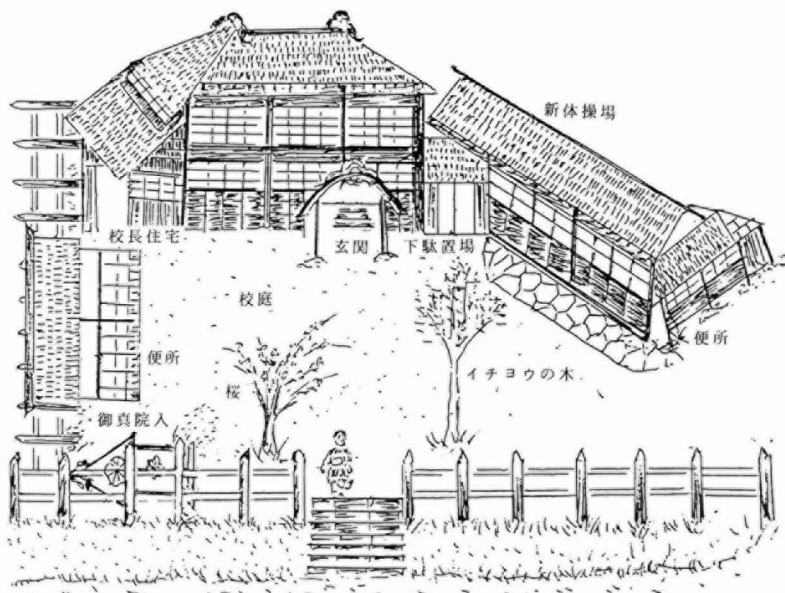
急発進、急加速は、発進困難や尻振りの原因になります。「ゆっくり発進」と「ゆっくり加速」を心掛けましょう。

▼カーブは特にゆっくりとカーブの手前で十分にスピードを落しましょう。

我が村の落書

畠山 鶴松

明治の小学校の学び



33

当時の春の遠足は、一年生は近所の山辺や堤の土手、広ヶ野の芝生の広いところで昼ご飯を食べ、色々の摘草をしたり、野花を折ったりして帰ったものだ。

秋の場合は、近くの松林の中で茸をさがしたり、アケビを取ったりして元気で帰ったものだ。

三、四年になると、各学校へ生徒の勉強や遊び方、学校内部を見たりするため歩くもので、また地元の館山城跡へ登った。村々を眼下に、遙か遠くの八郎潟には帆船に男鹿の真山、本山、寒風山がほんのりと見え、大海には大船が煙を吐いているのが見え、絵のようであった。

遠方では目倉鼻の山の上にたてられた六尺もある大地蔵様、大トンドの住んだ穴、汽車が煙を吐いて勢いよく汽笛を鳴らしトンネルを通るところなど、珍らしく見たことが思い浮かんでくる。

途中、草履が切れると、はだしで歩く者もいたり、昼食は鮭の塩引に味噌漬ガツコ、筋子のようなもので、玉子はまだおかずにするほどはなかった。

生徒達は腰に弁当入の風呂敷、頭には手ぬぐいかむりとか坊主頭、親方衆の子供四、五人は麦わら帽子に雑のうであった。

身なりは内モンペに鉄鉋襦袢、新しい帯で、遠足だという大家族一体で喜んだもので、子供達が学校から列を作り元気に出発する姿を楽しみにしたもののようだ。

カメラレポート



回覧板500枚を寄贈

開局15周年を記念して

五城目電報電話局から、11月26日、町内のみなさんに利用していただきたいと、回覧板500枚が町に贈られました。

この回覧板は、五城目電報電話局開局15周年を記念して製作したもので、縦30センチ、横39.5センチの回覧用バインダーです。町では、さっそく隣り組数分を各町内会に配付することにしました。



町長に見本の回覧板を手渡し伊藤局長（左）



男子と女子の優勝チームに贈られた畑沢正作杯

畑沢正作杯を兼ねて開催

全県中学校招待バスケット

町の教育委員会が主催する第13回全県中学校招待バスケットボール五城目大会は、11月23日、広域体育館で、第1回畑沢正作杯バスケットボール大会を兼ねて開かれました。

畑沢正作杯バスケットボール大会は、五城目町バスケットボール協会と遺族が、バスケットボールの振興に傾注された故人の意志を受け継ぎ、教育委員会に男子と女子の優勝カップを寄贈し実現したものです。町では、数多くの優秀な選手を育て、本町バスケットボールの発展に尽力された故人の功績をたたえるため、毎年、全県招待大会と兼ねて開催することになっています。（結果はスポーツコーナーに掲載）

お知らせ

公共職業安定所 求職受付は木曜日

秋田公共職業安定所では、十二月十日から来年の二月十五日まで、求職受付（雇用保険手続）を市町村別に曜日と時間を指定して行います。これは冬期間、離職者が増加しますので、窓口事務の混雑を緩和するために行うものです。町内に居住する人の受け付けは次のとおりです。

▽受付曜日 毎週木曜日
▽受付時間 午前八時四十分～五十分

ただし、十二月二十八日から一月四日までは、年末年始の休日と業務整理のため、受付業務は行われません。

また、冬期間は駐車場の使用は困難となりますので、自家用車での来所は遠慮してください。

申し込み受付中 住宅金融公庫

住宅金融公庫では、融資の申し込みの受け付けを行っています。主な貸し付けの受付期限は次のとおりです。



身体障害者福祉週間
12月9日～15日

- ▽一般住宅建設資金、マンション建売住宅購入資金
昭和五十九年十二月十日（特別貸し付けは昭和六十年二月二十八日まで）
- ▽中古住宅購入資金
昭和六十年二月二十八日
- ▽住宅改良資金、財形住宅資金、住宅積立郵便貯金預金者
昭和六十年二月二十八日

昭和六十年二月二十八日 融資制度の内容や申し込み方法など詳しいことは、次のところにお問い合わせください。
▽住宅金融公庫仙台支所住宅相談所 0222(27)9311

八郎潟駅での バスの乗降は駅表口で

秋田中央交通（株）のバスは、十二月一日から、国鉄八郎潟駅構内での乗客の乗り降りを、すべて駅の表口で行います。八郎潟駅構内に乗り入れるバスは、駅の表口に到着します。バスを利用される方は注意してください。今までバスの発着場となっていた駅裏の乗り場は、十一月三十日で閉鎖されました。

信用金庫 新店舗へ移転します

五城目信用金庫は、本店新築のため仮店舗で営業していましたが、十二月十七日（月）から新店舗で営業します。

「国籍法」と「戸籍法」の 一部が改正されました

「国籍法」と「戸籍法」の一部が改正され、来年の一月一日から施行されることになりました。その主な改正点を紹介します。詳しいことは法務局におたずねください。

帰化条件の改正

これまでの、日本人と結婚した外国人の帰化条件（帰化するための最低限の条件）は、その外国人が夫であるか、妻であるかで、居住の条件などに差異がありました。改正法では、これを同一にして、三年以上国内に居住していること（結婚が三年以上続いている場合）は、一年以上国内に居住していること）が必要になりました。

このほか、これまでは、帰化申請者本人に独立の生活能力のあることが必要とされていましたが、改正法では、原則として世帯単位で生活能力が判断されることになりました。また、帰化の時に外国の

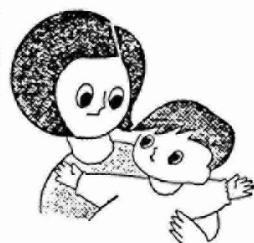
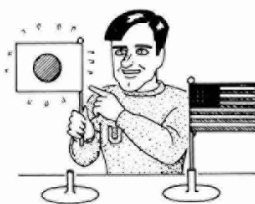
国籍を失うことが必要とされる重国籍防止条件についても、特別の事情がある場合には、例外として帰化が認められることとなっています。

届出による国籍の取得

父母両系主義は、昭和六十年一月一日以降に生まれた子に適用されますが、この日より前に生まれた子には適用されません。けれども、国際結婚をした日本人女性の子で、改正法施行の日に二十歳未満であるものについては、一定の条件の下で、施行後三年間に限り、法務大臣に届け出ることで、日本の国籍を取得することが出来ます。

国際結婚をした人の氏の変更

外国人と結婚しても、結婚した日本人の氏が変わらないのは、これまでと同じですが、改正法は、その人が希望するときは、結婚の日から六ヵ月以内に市区町村長に届出をすることによって、外国人配偶者と同じ氏を名づけることができることになりました。（完）



お誕生

おめでとう
いっしょに

新畑町	柴野伊都	9月20日
隆司	章子	長女
畑町	伊藤あゆみ	9月25日
和彦	秀姫	長女
畑町	伊藤めぐみ	9月25日
和彦	秀姫	二女
大川三区	八柳翔太郎	10月3日

帝釈寺	草皆公栄	10月5日	
潤一	孝子	長男	
岡本	喜美雄	厚子	長男
昭辰町	小野雄兄	10月10日	
兄一	優子	長男	
紀久栄町	伊藤紋佳	10月12日	
俊英	淑子	長女	
一番町	猿田知史	10月13日	
隆介	律子	二男	
杉沢	石川諒子	10月14日	
維洋	雅子	三女	
今町	坂谷奈々	10月14日	
研一	志保子	長女	
小倉	佐藤明恵	10月15日	
幸作	昭子	二女	



全町卓球大会 職場対抗で役場優勝

11月23日・25日

五城目一中体育館

小学五年男子単決勝

金野 2-1 原田

（五城目）（五城目）

同女子単決勝

佐藤 2-0 猿田

（五城目）（五城目）

小学六年男子単決勝

佐々木（修）2-1 工藤

（五城目）（五城目）

同女子単優勝

石井（五城目）

中学一年男子単決勝

伊藤（忠）2-0 伊藤（晋）

（富津内）（富津内）

同女子単決勝

石川（明）2-0 小林

（五城目一）（五城目一）

中学二年男子単決勝

伊藤（博）2-1 近江

（富津内）（富津内）

同女子単決勝

草皆 2-0 栗山

（五城目一）（五城目一）

一般男子単決勝

一関 2-0 千田

（秋田銀行）（五城目役場）

同女子単決勝

猿田 2-0 佐藤

（中央観光社）（中通病院）

同三〇歳代単決勝

三戸 2-0 松橋

（八郎潟役場）（山二施設）

同四〇歳代単決勝

猿田 2-1 渡辺

（猿田商店）（渡辺時計店）

同五〇歳代単決勝

福島 2-0 猿田

（福島電気）（秋田）

同男子複決勝

三戸（八）

郎潟役場

一関 2-0 田銀行

（五松堂）（三浦（秋）相銀行）

同女子複決勝

猿田（中）

（中央観光社）（屋高）

男子一回戦

五城目一 50-33 山王

琴丘 51-32 大曲

八郎潟 42-37 大雄

秋田東 62-40 角館

同準決勝

五城目一 65-63 琴丘

秋田東 51-32 八郎潟

同決勝

秋田東 67-45 五城目一

女子一回戦

琴丘 40-34 五城目一

秋田東 59-46 井川

男鹿東 61-53 下浜

大曲 38-25 八郎潟

同準決勝

秋田東 46-17 琴丘

大曲 40-33 男鹿東

同決勝

大曲 59-48 秋田東

表彰

県農業会議会長表彰
沢田石さんら五人に

第二十八回秋田県農業委員大会が、十一月一日、横手市民会館で開かれ、席上、本町から次の方たちが県農業会議会長表彰を受けられました。

▽永年勤続農業委員会委員（五期十五年以上勤続）
沢田石栄之助（湯ノ又）
佐々木忠雄（恋地）
佐々木仁光（岡本）
▽農業委員会委員功労者
伊藤邦雄（落合）
佐藤博（谷地中）

五城目町文学作品 短歌部門優秀作品

入選

過疎すすむ里

松橋正之助(浅見内)

休耕のながくつづきし狭間田の
草の茂みに雉子の巣ごもる

農厭う若きら去りしこの里に
住みなれいつか吾も老いたり

採算のとれぬ営農嘆きつつ
盆のさなかに水引きに出ず

峡の里をいずれ離れてゆく子らか
祭の群れにはしやぎ駈けゆく

倒木にいまを盛りとなめこ生え
採る人もなし過疎すすむ里

佳作一席

岩野山団地に住みて三年

山口 邦三(館町)

家裏のぐみの実好みて子ら食いし
いまひよどりの来てはついでむ

このままに老をたもちてしあわせの
くずるるなきを妻と祈れる

音もなく齢はすぎてゆくものか
この平穏の刻よとどまれ

子ら遠くはなれ住めども遠くいる
心のかたみに通えばたのし

嫁姑のかかわりもなく家妻の
住みて安けきふるさとの家は

佳作二席

三宝岡ボックリ寺に

鍋谷フクエ(長町)

三宝岡ボックリ寺の団体の
車中に数珠を持ちたる老も

うら若き男女ひっそり境内の
水子地蔵を伏し拝み居り

焼け残る純金如来この床に
埋め置くと聞き居住い正す

真暗闇胎内巡り声も無く
四十人の列は続きぬ

スタンプの列に並びて梅雨曇る
ボックリ寺に紫陽花盛る

佳作三席

盆踊り

佐藤 流水(矢場崎)

花輪にも色々ありて値を張りぬ
我れ見る目にはそれほど差はなく

宵宮に夜勤し居れば賑やかに
太鼓笛の音街より聞ゆ

年毎に全町対抗盆踊り
賑やかなりし輪を広げつつ

転作の豆に不足は補えず
農夫は今年も出稼ぎに行く

待望の庁舎は成りて右左
道幅広く町の整う

作品評

(選者) 一関 吉美

一首、一首が独立した価値を持ち、しかも五首の連作として、緊密に構成された作品でなければならぬ。

入選の「過疎すすむ里」は、その条件にかなった作品である。誠実に農業を営んできた老いた作者の古里を愛する心と、離れて行かざるを得ない若者たちへの感慨とが、こめられており、表現も物静かで哀感がある。

佳作一席の「岩野山団地に住みて三年」は、いい作品だと思うが、四首目、五首目、推敲の要が感じられて惜しい。どこか一首に、作者の現在の境涯を暗示したら効果的だと思ったが、あえて出さなかったのは、作者自身の心意気であらうか。

佳作二席の「三宝岡ボックリ寺」は、軽妙な作品。それでいて、重い庶民の願いが感じられるところがいい。五首目「並びて」は、「並び」とすべきではなからうか。

佳作三席の「盆踊り」も、一味違った面白い作品。宵宮に夜勤して、いろいろと感じたり、思ったりしているのが、自由で魅力的である。一首目「値を張りぬ」は、「値の張りぬ」ではなからうか。

交通安全のマスコットを お母さんたちがプレゼント



赤いちょうネクタイをした
かわいいマスコット

五城目幼稚園の父兄会である「ゆりかご会」(会長・小野みち子)のお母さんたちが、このほど園児全員に、「交通事故にあわないようにみんなに注意しましょう」と交通安全のマスコットをプレゼントしました。園児たちは、お母さんたちから一人ひとりの通園カバンにマスコットを結びつけてもらい「カワイイ、カワイイ」と大喜び。

このマスコットは、丈が七センチくらい白い犬。そして黄色の地に「いそいでも、きちんとみます右左」と緑色で書かれたシールがついています。会長の小野さんが知人からもらったマスコットをヒントにしたもので、白いロープをじょうずに加工してつくられています。



善意

(敬称略)



善意銀行
預託者

(敬称略)

▽十一月十二日

大川保育園に寄贈
ジュウシマツ 五羽

小林精肉店・小林晴治

・十月三十一日

十万円 仲町 渡部隆男
(亡父純之助様の香典返し
として)

町内の話題